

[参考] 吉備線 100 年の歩み

明治 37 年	11 月 15 日	中国鉄道会社線	吉備線開通(岡山駅～湛井駅(たたい)現東総社駅間)
明治 44 年	5 月 1 日	中国鉄道会社線	稲荷駅(現備中高松駅)～稲荷山駅間開通
大正 3 年	2 月 25 日	大安寺駅	営業開始
大正 14 年	8 月 7 日	中国鉄道会社線	総社(現東総社)～西総社(現総社)間開通 中国鉄道 吉備線「湛井駅」を廃止。
昭和 19 年	1 月 10 日	中国鉄道会社線	備中高松駅～稲荷山駅間廃止
昭和 19 年	6 月 1 日	中国鉄道会社線から	国有鉄道に移管
昭和 25 年	10 月 1 日	ディーゼルカー(気動車)	運転
昭和 34 年	10 月 1 日	総社駅を東総社駅と改称、	伯備線「西総社駅」を総社駅と改称
昭和 43 年	9 月 30 日	岡山～総社間	CTC(列車集中制御装置)の使用開始
昭和 46 年	3 月 25 日	吉備線ディーゼル化	(SL からディーゼル機関車へ)
昭和 57 年	6 月 21 日	吉備線から	客車廃止(気動車化)
平成 3 年	4 月 1 日	ワンマン列車	の導入
平成 15 年	10 月 1 日	2 両ワンマン列車	の導入

中国鉄道：岡山で二番目の私鉄として開通(明治 31 年 12 月 21 日 岡山～津山間)
一番目は山陽鉄道(明治 24 年 3 月 18 日)